



ASTON MARTIN

2004年10月28日

アストンマーティン、新エンジンプラント完成
- 新世代のアストンマーティンのために -

2004年10月28日、ドイツ、ケルン – アストンマーティンは本日、ケルンに専用のエンジンプラントをオープンしました。そのセレモニーには、地元の高官も出席しました。ヴァンキッシュ、DB9、V8 ヴァンテージ(2005年発表)、アストンマーティンの全てのエンジンは、この新しいプラントで生産されることになります。.

この新しい施設の開設は、2005年の終わりには、年間5000台規模の生産を実現しようという会社の強い意志を示しています。また、アストンマーティンとして初めての、エンジン専用の生産施設となります。.

フォードのニールのエンジンプラントとは区別された施設として存在し、アストンマーティンのエンジンの生産のためだけのプラントであり、建物にはコーポレートアイデンティティのマークが施されています。

この施設をオープンすることが決定して以来、6ヶ月に渡るトレーニングを受けてきたトータル100名のアストンマーティン担当者が配属されます。

アストンマーティンのチーフエグゼクティブ、ドクター・ウルリッヒ・ベッツは、“アストンマーティンのエンジンプラントは、我々にかつてないフレキシビリティを与えるでしょう。お客様がなにを求めているかを察知し、いち早くこれを製品に反映していくことが我々の優れた点の一つです。そして我々は今、エンジンの生産を自由にコントロールでき、より少量の特別なハイパフォーマンスバージョンについても、考えていくことができます。.

“我々は今年、見事に2つのモデルを送り出しました。DB9とそして先月パリモーターショーで発表したよりパワフルなバージョンのヴァンキッシュ、ヴァンキッシュ S。V8 ヴァンテージが登場する来年がエンジン生産を自社生産に戻す最良の時になるでしょう。

アストンマーティンのエンジンプラント(AMEP)は、アストンマーティンの現在、将来の生産規模を許容するのに十分な 12500 平方メートルの生産ホールで、4つの区別されたエリアから成り立っており、1つはエンジンシリンダーブロックの製造、1つはシリンダーヘッドの製造、1つはエンジンコンポーネントの組み付け、1つは部品の受け取り、出荷のエリアになります。全てのエンジンは組み付け工程で完璧にテストされ、冷間テスト、温間テストが同時に行われます。

施設では、V8 エンジン、V12 エンジンの製造、組み付けを同時に行うことが可能です。それぞれの技術者が、初めから最後まで、エンジンの製造を行います。そして 30 人以上の技術者が、エンジンの製造に従事することになります。

また施設は環境基準 ISO14001 を遵守しています。また、日光のレベルに応じて自動的に照明レベルが調整される適用照明システムを含む最新技術が導入されています。さらに、よりよい労働環境を創るために、工場で使用される設備機器は、ノイズレベルが 77 デシベルを越えないものが特別に選ばれました。